

議会 だより



令和4年10月21日

いいだ市議会だより

IIDACITY-gikaidayori

No.230

編集/広報広聴委員会 発行/飯田市議会 〒395-8501 長野県飯田市大久保町2534

80
志願割合率80%超



飯田高校生徒自治会と タウンミーティング ～「新たな広聴の場」として初開催～

- 第3回定例会開催……………②
- 議会による行政評価……………③
- ズバリ市政を問う(一般質問)…④～⑥
- 常任委員会の所管事務調査……………⑦
- 飯田高校生とのタウンミーティング…⑦

令和4年

第3回 定例会

8月30日
～
9月21日
開催

定例会のあらまし

第3回定例会開会日に、執行機関側から報告案件9件、人事案件3件、「職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について」など条例案件4件、「工事請負契約の一部変更について」など一般案件3件、「令和4年度飯田市一般会計補正予算(第6号)案」など予算案件3件、「令和3年度飯田市一般会計歳入歳出決算認定について」など決算認定案件13件の計35件の議案の上程がありました。

専決に係る報告案件のうち承認を求める案件及び人事案件については、上程日の採決により承認・同意しました。

その他の案件については常任委員会での審査を経て、最終日に全て原案のとおり可決または認定しました。

議案に対する質疑と審査

議案第60号「飯田市営駐車場条例の一部を改正する条例の制定について」は、本会議において、その効果や、減収の見通し等に関する質疑がありました。

報告案件、人事案件以外の議案については、所管する各常任委員会に付託され、集中的に審査しました。8ページからの各委員会ページをご覧ください。

【請願及び陳情の審査】

受理番号 【結果】	請願者又は陳情者	請願者又は陳情者の要旨	付託 委員会
令和4年 請願第2号 【採択】	飯田市大久保町2534番地 飯田市職員労働組合 執行委員長 倉田 奨 氏	・国に対し、地方公共団体の財政需要を的確に把握し、これに必要な地方交付税等の一般財源総額を確保すること等を求める意見書を提出願いたい。	総務 委員会
令和4年 請願第3号 【採択】	飯田市鼎中平2472番地 飯田市立鼎小学校内 長野県飯田市学校教職員組合 執行委員長 榊原 研太 氏	・国に対し、「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額」及び「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求め る意見書を提出願いたい。	社会 文教 委員会
令和4年 陳情第6号 【趣旨採択】	飯田市鼎中平2472番地 飯田市立鼎小学校内 長野県飯田市学校教職員組合 執行委員長 榊原 研太 氏	・県に対し、へき地手当およびへき地手当に準じる手当の支給率を、教育の機会均等と教育水準の向上をはかるため、都市部との格差、いわゆる相対的へき地性がいっそう拡大している実情を十分把握しつつ、近隣県との均衡を勘案し、2005年度以前の水準に戻すことを要求されたい。	社会 文教 委員会
令和4年 陳情第7号 【採択】	飯田市上郷黒田827番地1 久保田 愛 氏	・国に対し、「不登校の児童生徒がフリースクール等の学校以外の場において行う多様な学習活動に対して、負担軽減のための財政的支援の在り方について検討し、その結果に基づき必要な財政上の措置を講じること」、また、「フリースクール等民間施設の設立及び運営補助金等の経済的支援制度の確立を講じること」を求める意見書を提出願いたい。	社会 文教 委員会

閉会日には、各委員会での審査結果を受けて、国会等へ意見書提出を求める委員会発議の議案3件を提出しました。審議の結果、いずれも原案のとおり可決され、意見書を送付することが決定されました。

発委第4号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について
発委第5号	さらなる少人数学級推進と教育予算の増額及び義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書の提出について
発委第6号	不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書の提出について

予算決算委員会

予算決算委員会、及び分科会における予算議案の審査の様子は、YouTubeで動画配信しています。



第3回定例会初日の8月30日に前期全体会を開催し、予算決算委員会へ付託のあった議案について分科会への分担を決定しました。その後、9月5日から15日にかけて各分科会を開催し、補正予算に係る予算議案3件、決算認定等15件の全18件を審査しました。

9月20日に開催した後期全体会では、各分科会の審査について座長報告を受けるとともに議案審査等を行い、いずれも原案のとおりに可決または認定することに決定しました。

飯田市議会では、「決算議会」といわれる今定例会の委員会の議案審査を行政評価と連動させ、決算審査で個別事務事業評価を実施しています。「議会による行政評価」の評価及び提言書の概要は下段をご覧ください。

令和3年度飯田市各会計の決算を認定

令和3年度の決算において、一般会計、墓地事業特別会計、ケーブルテレビ放送事業特別会計の合計である普通会計は、歳入総額541億9、865万円、歳出総額528億934万円となり（会計間で移動した金額を控除した後の額）、令和4年度に繰り越す財源4億3、860万円を除いた実質収支は9億5、072万円の黒字となりました。

「いいだ未来デザイン2028」の中期計画3年目へ向けて

議会による行政評価からの評価及び提言書を市長に手渡ししました

「議会による行政評価」は、飯田市自治基本条例に規定されている市議会の責務を果たし、市の執行機関の活動の監視と適正な行政運営の確保を目的に平成20年度から実施しています。

今年度の「議会による行政評価」は、「いいだ未来デザイン2028」の中期計画、中間期審査にあたるため、評価対象とする基本目標を7目標選定し、実施しました。

事務事業については、各常任委員会の所管事務調査に関わりの深い事務事業、基本目標や年度戦略の評価において課題があると思われる項目に関連する事務事業等を27事業選定し、決算審査とは別に評価を行いました。

これは、事務事業が予算決算に直結しており「議会の政策サイクルを回すという視点」、「方向性の妥当性など上から下へ俯瞰する視点」及び「目標達成への貢献度や効果など下から上へ仰視する視点」を重視したいとの考えに基づくためです。

評価にあたっては、総務・社会文教・産業建設の各常任委員会の構成員による予算決算委員会各分科会での専門的な評価のとりまとめを行い、市長へ提言書を提出しました。

今回の提言が、次年度の戦略計画の策定や新年度予算編成に生かされ、更なる市民サービスの向上に努められることを期待しながら、議会として今後も執行機関の監視に努めていきます。

提言書の詳細内容は、飯田市議会ホームページに掲載しております。QRコードもしくは、



検索
飯田市議会 行政評価



9月30日に、井坪議長から佐藤市長に提言を手渡しました。

●評価の対象とした27事務事業の評価結果の概要

対象事業数	継続	改善		抜本的な見直し
		予算への反映有	予算への反映無	
27	11	3	11	2

市及び市教育委員会が行う 共催・後援のあり方について

古川 仁 議員(日本共産党)



A 市政に疑念を持たれることがないように、市として社会問題化している特定団体とは一切関わりを持たない。市教育委員会が行う共催・後援については、規則に基づき判断を行っているが、協賛者の把握や対応については、今後に向けた検討課題と言える。

■飯田市平和祈念館について

■地域防災力の向上について

Q 問題化している、旧統一協会及び関連団体とは、一切関わらないと表明すべきと考えるがどうか。

ズバリ 市政を問う!

第3回定例会の一般質問の概要を紹介します。(14名・質問順)

■は、そのほかの質問項目

一般質問の様子はYouTubeで動画配信しています



信州大学新学部の 誘致について

岡田 倫英 議員(会派きぼう)



A いいだ未来デザイン2028の中に「若年層が『住みたい』と思うまちづくり」というテーマがあり、「大学のありまちづくり」はその一環となる取り組みになる。令和5年度予算編成方針においても「大学のあるまちづくり」を重点的なテーマと位置付けて、全庁的な検討を進めていきたい。

■個性を尊重し、多様な価値観を認め合う地域社会について

Q 大学のあるまちづくりを来年度戦略計画に入れるとのことだが、どのように進めていくか。

スポーツ施設の環境整備と スポーツ文化に関して

原 和世 議員(会派みらい)



A スポーツ協会からの要望を受け、令和元年度にLED投光器を4基設置したが、明るさが充分ではないため、改善に向けた取り組みをしていく。グラウンドの審判棟にある5基の照明は、今まで使われてきていないが、点灯すると明るさが十分に確保できるといふ議員指摘については、早急に現場を確認する。

■飯田市立動物園の経営について

Q これまでも指摘してきたが、飯田市総合運動場は、照明が無いため日没後の使用は危険では。

がん予防の推進と 支援について

宮脇 邦彦 議員(公明党)



A がん教育は、がんへの正しい理解と、がん患者や家族などのがんと向き合う人々に対する共感的な理解を深めることを通して、自他の健康と命の大切さについて学び、共に生きる社会づくりに寄与する資質や能力の育成を図る教育である。早期発見・早期治療により治る病気として、がんに対する知識、意識を子どもの頃から高めていくことは大切である。

Q 地域を守るがん予防と緩和ケア(アピアランスケア支援等含)の充実を図り、がん教育をその柱としては。

移住・定住の推進について

清水 優一郎 議員(新政いいだ)



A 令和2年国勢調査によると、飯田市の総人口は9万8,164人、飯田市人口ビジョンの目標値より334人少ない状況だった。移住定住を推進する上で、地域や地元企業、関係機関等との協働による取り組みが点で終わることなく、一人でも多くの市民の皆さんに関わっていただき、面的に地域ぐるみで一体感のある取り組みに変えていきたい。

Q 飯田市人口ビジョンの進捗と、選ばれる飯田市になるためには。

持続可能な地域社会の 実現に向けて

福澤 克憲 議員(会派きぼう)



A 取組内容を市民に伝える「環境レポート」の概要版の検討や、昨年度からはじめた全地区対象の「環境懇談会」を活用し、取組への理解を得ていきたい。この取組は行政のみでは達成できないことから、市民の皆さん、地域、事業所などさまざまな方々が自分事ととらえ、連携して取り組む必要がある、市はけん引役として取組を進めていく。

Q ゼロカーボンシティの実現に向けて、市民の皆さんに身近に感じてもらえるような取組も必要では。

リニア駅周辺整備と 取り巻く環境について

小平 彰 議員(新政いいだ)



A リニア駅の駅名は、JR東海が開業前に決めることを表明している。一方で、過去の整備新幹線の例を見ると、地元から駅名についての要望をあげている。開業から2年前程度に決められている例が多いため、リニア全線の建設がある程度進み、現実的な開業時期が明確化した段階で、動きを盛り上げていくことが重要であると認識している。

Q リニア駅の名称はどのように進めるか。

リニア時代到来に向けた 主要道路網整備について

西森 六三 議員(会派きぼう)



A 国道153号飯田南バイパスの建設は、令和5年度の事業化を目指し必要な調整を進めているところと聞く。これまで事業化に向けて要望活動を行ってきた経過があり、一定の成果の表れと認識する。北部方面の進捗のひとつとして、県道市場桜町線と上飯田線ともにJR飯田線の踏切があるが、両踏切ともすでに踏切改良が完了した。

Q リニア駅へのアクセス道路網の改良の現状と計画は。

竹林整備について

橋爪 重人 議員(新政いいだ)



A 荒廃した竹林は、割れて鋭く尖った竹が複雑に交錯し非常に危険であり、入ることままならない。地域住民による整備が困難な場合が多く、安全に整備を進めるため、専門業者による間伐等の初期整備を行う。その後は、竹材の利用やタケノコの加工販売など竹林の活用方法を学ぶ機会への支援等を想定している。

Q 今回導入された「多様な主体との協働による竹林整備支援事業」の具体的な支援内容は。

期日前投票のあり方は

小林 真一 議員(公明党)



A 投票機会の確保という観点では有効である一方で、移動投票所として活用できる車両の確保や、二重投票を防止するためのセキュリティ対策に多大なコストを要することが懸念される。今すぐ移動投票所を含めた期日前投票を増設する考えはないが、投票率向上の視点を持ちながら、費用対効果を考慮し検討していきたい。

Q 市民からの意見・要望を踏まえ、期日前投票所を商業施設へ設けることや、移動期日前投票所導入の考えは。

自転車を使った まちづくりについて

市瀬 芳明 議員(日本共産党)



A イベントを実施することで、人の動きが出て経済効果につながる。他地域から来てくだされば、宿泊を伴うため、なお一層の効果が期待される。一方で、イベントの実施・継続は市だけで出来ることではないため、企画・運営に関連する方々と運営組織を継続的につくることのできることにポイントを置きながら進めていきたい。

Q 観光行政の立場から、コロナ禍で中止となった大会の地域資源を生かした大会の再開等をどう考えるか。

健康寿命延伸のための フレイル予防の今後は

木下 徳 康 議員 (新政いいだ)



A これからの地域包括ケアの中で、社会的処方への考え方は、介護予防の展開に大事な視点であると捉える。PFSの導入については、関心を持って検討したい。この導入が、健康づくりや介護予防になじむ委託方法であれば、今後事業化を考えていく価値が十分にある。

Q フレイル予防の取り組みの評価指標が確立されれば、社会的処方の導入、PFS（成果連動型民間委託契約方式）の活用が可能ではないか。

「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」とジェンダー・多様性に関して

佐々木 博 子 議員 (会派みらい)



A 男性職員の育休取得が進まない要因として、収入面の心配や職場への配慮、業務の多忙さが考えられる。今後は、育休取得に対する意識改革に加え、職員が安心して育休を取得できるよう、業務分担の見直しや職場全体で協力・応援し合う体制づくり、育休取得者の代替は正規職員を充てるなど、事業所として環境改善に努めたい。

Q 男性職員への育休取得推進と現場の現実とのギャップをどう考えるか。



第1分科会(総務委員会) 鼎会場



第2分科会(社会文教委員会) 松尾会場



第3分科会(産業建設委員会) 上村会場

有機給食への 取り組みについて

関島 百合 議員 (会派みらい)



A フランスでは国として、学校給食に使用することを義務付ける「エガリム法」が施行されたと聞き、先進性を強く感じた。手間がかかっても、環境に優しく体にも優しい農業が法律をもとに成り立っていることを認識した。フランスと当地域は異なる部分はあるが、課題解決に向け、様々な工夫と連携が大切だと感じた。

Q 学校給食の地産地消や有機化を進める調理員と栄養士とつくる組織「CPPPフランス」との交流から得たものは。

2年ぶりに、「議会報告・意見交換会を」開催しました

コロナ禍により、昨年度は開催できなかった議会報告・意見交換会を、9月28日～30日、10月4日～7日の7日間、各地区のまちづくり委員会にご協力いただき開催しました。

新型コロナウイルスの感染状況に配慮し、今年度初めての試みとして、各ブロックで2会場の全14会場としました。

対応する議員は2班に分かれ、各会場では、常任委員会ごとの分科会形式の開催となりました。

人数を制限しての開催でしたが、なごやかな雰囲気でも、参加いただいた皆様から貴重な意見を伺うことができました。



常任委員会の所管事務調査(視察)報告

総務委員会

実施期日 令和4年6月28日(火)～29日(水)

調査事項 (視察項目及び視察先)

- 1 伊豆半島ジオパーク推進協議会の取り組みについて
伊豆半島ジオパークミュージアム「ジオリア」視察
(伊豆半島ジオパーク推進協議会〔一般社団法人美しい伊豆創造センター〕)
- 2 防災対策、自主防災会の防災体制について (静岡県 三島市)
- 3 「環境に特化したまちづくり」の取り組みについて (静岡県 御殿場市)



御殿場市議会議場にて



北区役所にて

社会文教委員会

実施期日 令和4年6月30日(木)～7月1日(金)

調査事項 (視察項目及び視察先)

- 1 「フレイル予防事業」の取り組みについて (千葉県 柏市)
「長寿社会のまちづくり～豊四季台プロジェクト～」の取り組みについて
- 2 「東京都北区あるきたポイント事業」の取り組みについて (東京都 北区)
- 3 「東大和元気ゆうゆうポイント事業」の取り組みについて (東京都 東大和市)

産業建設委員会

実施期日 令和4年7月5日(火)～7日(木)

調査事項 (視察項目及び視察先)

- 1 昼間人口の増加率を高め、地域内経済循環を図るまちづくりについて
「ひと・夢・未来創造拠点複合施設」視察 (愛媛県 西条市)
- 2 中心市街地再開発事業/中心市街地のにぎわい復活を目指した拠点づくり (香川県 高松市)
「中心市街地及び商店街活性化」の取り組みについて (高松丸亀町商店街振興組合)
- 3 多様な世代の移住の流れをつくる政策について (岡山県 笠岡市)
シェアアトリエ海の校舎での取り組みについて (特定非営利活動法人 海の校舎)



丸亀町商店街にて

「新たな広聴の場」として “タウンミーティング” を初開催 in 飯田高校

議会報告・意見交換会の参加者アンケートに、議会に自分達の声を届けることのできる「新たな広聴」の機会を望む声寄せられ、広報広聴委員会で検討を重ねてきました。

子育て世代や若者、女性など幅広い市民の皆さんとの懇談の機会として設けることとし、初年度は「若者」を対象として開催することになりました。

開催にあたっては、飯田高校生徒自治会の皆さんと調整を重ね、学校にもご理解をいただき、生徒自治会との共催により実施しました。

▼日時 令和4年7月26日(火)

▼内容

(1) 議会活動について説明 (広報広聴委員長)

(2) 高校生と議員が3グループに分かれてグループワーク

〈テーマ〉「将来どんな飯田市になってほしいか」

「身近な困っていること」

(3) 3グループから要点発表

生徒の皆さんから、さまざまなご意見をいただきました。その中の一つを紹介します。

「信大のキャンパスの見えるに松本へ行き、大学があると街に活気があると感じました。新学部が飯田に来れば、規模が大きいのので他県からも人が集まって来る。」

「松本のようにならなくていいので、お練りまつりや御柱祭といった伝統的な文化、豊かな自然をはじめとした飯田の魅力をもっと多くの人に分かってもらえるような発展ができれば嬉しい。」



佐藤会長から自治生徒会が実施したアンケートの説明

総務委員会

9月5日～6日に
委員会等を開催



委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください

飯田市営駐車場条例の一部を改正する 条例の制定について（議案第60号）

これまで60分まで無料であったものを2時間まで無料とし、以後30分ごとの使用料を100円とし、24時間につき上限の額を2千円とするための改正をしようとするもの。

Q 2時間無料にすることにより、駐車場事業特別会計の財源が不足し、一般会計からの繰り入れが必要とされないか。

A 駐車場利用の負担は、受益者負担が原則であるが、今回の施策は、中心市街地への人の流れの回復と活性化を目標に行うものである。状況によっては、一般会計からの繰り入れを含む補正予算案を提案することも想定している。

Q 無料時間等でさまざまなパターンの検討、通年の利用状況の把握や、影響等の精査を進める必要性もあると思う。条例改正ではなく、試行期間の延長も選択肢としてあったと思うが、どうか。

A 市営駐車場の2時間無料化は、中心市街地の活性化に寄与するとの観点から、できるだけ早いタイミングで本格実施したいと考えていた。試行期間の延長の選択肢はあったかもしれないが、本格実施に切り替えて、中心市街地の市営駐車場は2時間無料とのメッセージを打ち出す面からも、今回条例改正の提案に至った。

この議案は、中心市街地の活性化コストをどう見るかに尽きると思う。今の概算では、年間で数百万円の赤字が見込まれ、それが中心市街地活性化のコストとして見込まれるということか。

Q 今後のコロナの状況や、例えば大ヒットの映画の上映があるだけで収入に大きく影響すると捉えている。今後の状況を見る中で、より詳細な決算見通しを立て、一般会計からの繰り入れを判断したい。



提供：橋南公民館

《予算決算委員会 総務分科会》 議案第64号 一般会計補正予算（第6号）案 検査キットの無料配布について

Q 来年1月初旬までの検査キットとして10万個の購入経費を計上したとのことだが、現状の無料配布をいつまで続ける予定か。当面は、事業の組み立てに変更はないか。

A 危機管理部で対応している事業は、概ね継続する予定であるが、このうち企業活動や団体活動に伴う配布は、検討を進めている。

請願審査に関して

本請願については、8月30日に開催した総務委員会にて、紹介議員からの説明を求め、決定しました。

9月5日の審査では、紹介議員である福澤克憲議員から、願意趣旨や経過等の意見陳述を聴いた後、4人の委員から質疑が行われました。紹介議員からは、市の現状や財政制度の詳細を踏まえた丁寧な説明と、あらためて、地方の声として、地方の一団体として国へ訴えていきたい旨の説明がありました。

請願の審査結果

令和4年 請願第2号

国に対し、地方公共団体の財政需要を的確に把握し、これに必要な地方交付税等の一般財源総額を確保すること等を求める意見書を提出願いたい。

結果

採 択

慎重に審査を行い、採択とすることに決定しました。

社会文教委員会

9月6日～7日に
委員会等を開催



委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください

請願・陳情の審査について

2ページで紹介したとおり、社会文教委員会では1件の請願と2件の陳情の審査を行いました。

このうち、陳情第7号、国に対し「不登校児童生徒がフリースクール等の学校以外の場において行う多様な学習活動に対して、負担軽減のための財政的支援の在り方について検討し、その結果に基づき必要な財政上の措置を講じること」に関する審査について報告します。

〈陳情書の提出・参考人招致の決定〉

陳情者からの陳情書の提出時に、審査の際の願意説明の申し出があったことから、8月30日に開催した社会文教委員会において、陳情者を参考人として招致することを審議し決定しました。

〈参考人の意見陳述・陳情の審査〉

9月6日の陳情審査では、意見陳述として陳情の趣旨を参考人からお聴きした後、委員から参考人への質疑を行いました。参考人からは、ご自身の実体験を通して、プライベートな内容にまで踏み込んだので、

切実な思いと財政上の措置の必要性をお話しいただきました。

〈陳情の審査・決定〉

参考人への質疑終了後、委員それぞれの立場から発言があり、審査の結果、分科会として「採択」と決定しました。

*委員の発言内容（一部）

○フリースクールの支援では、県も今年6月から9月上旬まで、学校以外の「まなびの場」応援プロジェクトでクラウドファンディングによる寄付を募っている。寄付ということは一般財源ではないため不安定な状況ではあるが何とかしようとする意志があるということ。定義づけが確立していないフリースクールに対し、どこまでを対象にして、どれだけの支援が必要かという課題はあるが、実情として社会的な役割が大きくなっている中、支援策を講じてほしいと願うのは必要な意見であり、採択。

《予算決算委員会 社会文教分科会》

議案第64号一般会計補正予算(第6号)案

新文化会館候補地選定に係る調査業務委託について

Q 委託料の積算根拠は。

A 今回の調査は、点というよりは面を比較し、エリアごとのプラス・マイナスを洗い出したい。評価のポイントとしては、まちづくりの視点や、立地の実現性、駐車

場や寄り付きの良さといった交通の利便性、防災、環境の視点など、総合的な評価を行う。評価ポイントと個所数により積算した。

Q 市内のどこをどのよう評価しているのか。面積的に候補地が限られる中で、ある程度候補地となる場所があり、そこを調査していくことになるのか。

A 一点を決めてではなく、中心拠点、中心拠点近郊、広域交通拠点、その他郊外というエリアで比較していきたい。4つのエリアで最大10カ所を想定している。個所数は絞ろうと思っている。

《予算決算委員会 社会文教分科会》

令和3年度決算報告の審査から

ともに未来を支え合っパートナーづくり事業に関して

Q 新生活の居住に係る費用を健康福祉部で担当する意義は。

A 基本目標6では「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」を掲げており、マネジメントを健康福祉部が行っている。少子化対策として現在は健康福祉部が取り扱うと整理している。ただ、この問題は大きく、住宅政策なのか、移住定住政策なのか、議論のあるところ。今年度は導入初年度として結婚の支援を掲げる福祉課が担当をしたが、この先、総合的な人口問題として議論する余地はある。

産業建設委員会

9月7日～8日に
委員会等を開催



委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください

工事請負契約の一部変更について
(農業施設等補助災害復旧事業頭首工復旧工事)
(議案第61号)

令和2年7月の豪雨により被災した一級河川遠山川に設置されていた中河原頭首工の災害復旧工事について、当初予定されていた契約金額から減額することに関する議案を審査しました。

Q 既存のコンクリート擁壁を再利用して使うとのことだが、施工から年数が経っており破損等が考えられる。基礎として再利用することに問題はないか。

A 災害復旧においては、構造物が破損していないかを第一に考える。現地を確認を行ったところ、基礎の部分は護岸側の既設擁壁と一体化しており、問題なく再利用ができる状態であったため再利用をした。



《予算決算委員会 産業建設分科会》
議案第64号一般会計補正予算(第6号)案

緊急経済対策事業
プレミアム付き電子商品券事業費について
(議案第64号)

Q 対象店舗の登録目標の1,000店舗まで加盟してもらえるのか。また、端末レンタルを1,400台と見込んでいるが、店舗のレジの全台数か。

A 目標を設定し、多くの方に協力していただきながら取り組んでいる。加盟店登録を行うことについて、もう少し様子を見たいとの意向をもつ店舗がある。レンタルの積算根拠は、過去の実績から積算したレジの全台数である。

Q プレミアム付き電子商品券の購入に關し、ウェブ応募はできない方が多く、郵便局に受け取りに行くことがめんどろであるため申請しない方もいる。購入のための再申し込みをウェブ応募のみにした理由は。

A ウェブ応募は、一定程度の申込数があつたことと、二次販売後に商品券の利用期間が長くなることを重視した。申請後の事務手続きが短時間で実施できるなどの効率化を図るために一本化をした。

《予算決算委員会 産業建設分科会》
令和3年度決算報告の審査から

遠山郷観光戦略プロジェクト事業及び
南信濃観光施設管理事業について

Q 遠山郷観光振興ビジョンの今後の進捗状況は。

A 遠山郷観光振興ビジョンは、上村・南信濃両地区に説明した後、ご理解をいただき、5月に策定済みである。現在は、遠山郷観光協会など、それぞれの主体とともにビジョンに基づき、実施できるところから進めている状況である。

災害復旧費について

Q 令和3年度から令和4年度へ繰越明許となつている災害復旧事業の完了見込みは。

A 令和3年度8月の災害復旧工事は、入札不調や資材調達遅延、工事集中等によりやむを得ず遅れている。河川等一部の工事以外は、令和4年度上半期に終了している。

今年度にはすべて終了予定であるが、令和3年度以前の過年度災の一部には令和5年度までかかる事業もある。



リニア推進 特別委員会

9月12日に
委員会を開催



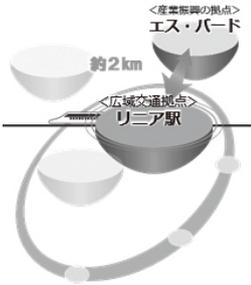
委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください

JR飯田線とリニア中央新幹線との接続 方法について

乗換新駅設置と既存駅活用を比較して優位性の評価を行い、経済性、利便性に加えて、新交通システムの地域への波及効果が重要であること。また、将来的な技術革新が想定されるため可変性を重視し、駅利用者の需要の変化を含む全体的総合的な判断を行い、既存駅を活用して乗換新駅は作らないとの結論に至った旨の説明がありました。

Q JR飯田線の活用や存続をどう考えているか。また、元善光寺駅前広場整備費2,000万円をどのように活用するか。

A JR飯田線を活用し存続につなげていくことが重要であり、地元住民の利用に加えて観光的な要素も考慮する必要がある。さまざまなアイデアを出しながら、JR東海と共に考えていく。元善光寺駅周辺エリアを一つのビジネスゾーンとして考え、エス・バードのエリアを含みつつ、整備方法を検討する。



リニア駅周辺整備に係る意見交換会について

これまで進めてきた土木の実施設計の確認と修正、今後の仕組みの構築に加え、機運醸成を図ることを目的として、9月17日に駅周辺整備に係る意見交換会をオンラインで開催すること。また、市民からの質問や意見に対する市長と有識者によるトークセッションでの回答、地域での実践を踏まえたリニア時代への意見交換を行うとの説明がありました。



さらに、意見等の募集は、今回の意見交換会で締め切ることはない。今後も具体的なテーマを設けてさまざまな意見交換会を実施する予定であり、特に魅力発信、広場の使い方などの関係はさらに検討する必要があるため、ご意見をいただきたいと考えているとの説明がありました。

Q 意見交換会の組み立ての中で、市長と有識者が回答する想定内容として、市民からの質問・意見に優先度をつけて整理したか。

A 市民からの意見の内容をふまえてトークセッションの順番を構成したい。広場の整備と使い方についての意見が一番多く、大屋根に関しては賛否の意見がある。魅力向上・発信についてはさまざまな意見がある。これらの内容を全体の流れの中で構成していきたい。

市が整備を行う代替地の区画調整及び 抽選結果について

市が整備を行っている3つの代替地に関して、令和4年2月1日から6月30日まで申込受付を行った結果、丹保・北条地区代替地では4人の申込があり、決定となった申込者は3人で決定区画が6区画。唐沢・宮の前地区代替地では申込者がなく、共和地区代替地では2人の申込があり、決定となった申込者は2人で決定区画が4区画となったとの説明がありました。

中央新幹線長野県駅(仮称)新設 中央新幹線、風越山トンネル(上郷)について

9月7日に北条地区で、9月8日に座光寺地区で開催された、工事説明会の内容についての報告がありました。また飯田市からは土曾川横断道路と常垣外橋(どうがいとばし)の工期、迂回路などの説明を行ったこと。また、北条地区の軟弱な地盤で使用する資材を置く場に関して地元の理解を得るため、改めて説明の機会を設けるとの説明がありました。

Q 今後は、JR東海、長野県、飯田市の工事が並行して進む。幹線道路や生活道路については情報量が膨大であるため、工事車両の交通量、規制個所などを地図に一元化し、1カ月ごとに更新してはどうか。

A 工事の各事業主体ごとに工事車両を抑えるなど調整を行い、住民に対して「工事だより」等により周知徹底をしていく必要がある。



～私の焼肉論～

しみず ゆういちろう
清水 優一郎

私にとっての焼肉とは、“食べるもの”というよりむしろ“すること”の方が近いかもしれない。

“同じ釜の飯を食う”という言葉があるがその意味は、生活を共にしたり、同じ職場で働いたり、苦楽を分かち合うという意味だそう。

私にとっての焼肉とはつまり、“同じ鉄板の肉を食う”ということになるだろう。

農家であるわが家では子どもの頃から、一段落した農作業の終わりに裏返したコンテナを椅子にして家族そろって焼肉をした。

今でも一段落した仕事や農作業の終わりに皆で焼肉をする。そこで肉とともに味わうのは、達成感や充実感といった家族や仲間との分かち合いの時間だ。その至福の時間を楽しみに、今日も一日がんばろう。



～世紀を超えて～

おかだ のり ひで
岡田 倫英

全身ピンクが印象的な芸人、林家ペーさんは有名人の誕生日を記憶している特技でも知られる。

自分の誕生日は誰がいるだろうと調べたところ、伊達政宗の名前が。

これは自慢話になると喜んだのも束の間、友人に「その日付は旧暦上だ」と指摘されたのには肩が落ちた。

それから数年後、今度は確かな情報で先輩の存在を知った。時代の波にさらされながらも長きにわたってたたずんできた存在感は揺るぎがない。そんな方だ。

先輩の名は飯田駅。1923(大正12)年8月3日、伊那電気鉄道の延伸に合わせ産声を上げたとある。大台の記念日は格別の思いで迎えるのだろうと今からワクワクしている。

議会の動き(予定)

■第4回定例会

開会11月22日(火)～閉会12月16日(金)

◇代表・一般質問 (傍聴可能)

12月5日(月)～7日(水)

◇委員会日程 (傍聴可能)

予算決算委員会前期全体会	11月22日(火)
総務委員会	12月8日(木)
社会文教委員会	12月9日(金)
産業建設委員会	12月12日(月)
リニア推進特別委員会	12月14日(水)
予算決算委員会後期全体会	12月16日(金)

■議会への請願・陳情は、議会事務局へ

11月7日(月)午後5時までにご提出ください。

中津川市議会との交流会

10月8日(土)に中津川市議会と飯田市議会の交流会を3年ぶりに開催しました。今年度は飯田市議会が当番市となり、満蒙開拓平和記念館の見学と天龍峡大橋「そらさんぼ」の散策をしました。

中津川市議会との交流会は、両市を結ぶ中央自動車道の開通が縁と思われませんが、当時、恵那山トンネルの通行料金が割高であったことから、この改定を両市議会で要望する活動を行うなど、これまで長年に亘って交流が続けられてきました。

リニア中央新幹線の本線事業が本格的に推進される時期にあるため、駅が設置される両市のさまざまな課題について、今後も情報交換を行っていきます。



議会傍聴に際してのお願い

議場や委員会室に入る場合は、帽子、外とう、襟巻、つえ、傘の類を着用し、又は携帯してはならないことになっています。(病気その他の理由により議長の許可を得たときは例外となりますので係員にお申し出ください。)

ご理解とご協力をお願いいたします。

広報広聴委員会

委員長/福澤 克憲	副委員長/清水 勇
委員/下平恒男	橋爪重人 関島百合
筒井誠逸	小林真一 佐々木博子